

平成二十年六月二十四日受領  
答弁第五六六号

内閣衆質一六九第五六六号

平成二十年六月二十四日

内閣総理大臣 福田 康 夫

衆議院議長 河 野 洋 平 殿

衆議院議員鈴木宗男君提出かつて北方領土交渉に悪影響を与えたと外務省が認識している国会議員に対する同省の対応等に関する第三回質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員鈴木宗男君提出かつて北方領土交渉に悪影響を与えたと外務省が認識している国会議員に  
対する同省の対応等に関する第三回質問に対する答弁書

一について

先の答弁書（平成二十年六月六日内閣衆質一六九第四四八号）の一、二及び七についてでお答えしたとおり、御指摘の北方四島住民支援に関する調査結果報告書には、当時、鈴木宗男衆議院議員の意向が突出した形で重視され、同議員の意向を押し量り、それを無視し得ないものと受け止め実現する方向に動かざるを得ない雰囲気を外務省内に存在していたこと及び同議員との関係をめぐり外務省員相互に根強い不信感が生まれていたことなどが述べられており、このような不正常的状態が生じていたと認識している。

二について

お尋ねの趣旨が必ずしも定かではないが、ロシア連邦との間の平和条約の締結に関する交渉（以下「交渉」という。）の内容にかかわる事柄について明らかにすることは、今後の交渉に支障を来すおそれがあることから、お答えすることは差し控えたい。